

観光地の磨き上げ

■**コロナ禍後の人の流れ**
 今年の5月以降、コロナ禍にがまんを強いられていた多くの人たちが積極的に出かけるようになっていきます。市内を見ても、鳥海山や元滝、仁賀保高原、ねむの丘周辺などの入込客数はいずれもコロナ禍前と同じか、それ以上となっております。また、観光とはちよつとちがいますが、金浦竹嶋瀉周辺の公園、エスパークやスケートパークといった新たなスポーツ施設の利用などでの来訪者も増えていきます。あわせて、今年の夏のイベント、「夢の祭典in潮風」や「にかほ市花火大会」の来場者数も以前の1.5倍からの入込客となり、ここでも多くの人がにかほ市に来てくれることがわかります。

■**「も」という考え方**
 デービッド・アトキンソン氏は、著書「新観光立国」の中で、「観光立国になるためには『も』が必要である」と述べています。現在、日本で会社を経営するイギリス出身のアトキンソン氏は、日本政府の観光に関する専門家会議のメンバーでもあり、特に、日本の観光・文化財・経済政策に深い知識をもつエキスパートとして活躍している人です。
 同氏は、この本の中で、「日本の場合、どれか一つの強みを打ち出せば観光客がわっと押し寄せるといふ幻想を抱いているが、仮にその強みがヒットして観光客に受け入れられたとしても、それは一回行けば十分なものにならず、確かな

観光立国となるためのリピーターの獲得にはつながらない」と指摘しています。そのうえで、ひらがなの『も』への意識が大切だとし、「気候も」「自然も」「文化も」「食事も」、すべてのモノがうまく組み合わさっていることが重要であると述べています。
 ■**あの手この手**
 にかほ市に暮らす私たちは、「にかほ市は、海もあり、山もあり、美味しい食べ物もあり、気候も温暖で暮らしやすい良いところだ」とよく言います。私もそう思います。ただ、このときに考えなければならぬのは、私たちの感じているものが相手に理解してもらえるものになっているかということです。
 言ってしまうえば、日本全国どこでも美しい海や山はあります。そんな中で、にかほ市を多くの人に観光地として認めてもらうには、あの手この手を使って「にかほ市はすてきな」と思ってもらわなければなりません。つまり、ポイントは自分たちが素晴らしいと思えるものを「あの手この手」になるように上手に商品化することができるかどうかなのだと思います。
 ■**新たな取組み**
 いま、市内のいくつもの観光事業者が、「星空」を使った新たな旅行商品づくりを行っています。中には、満天の星空に抱かれた仁賀保高原でディナーをとった



にかほ市長
市川雄次

あと、星の案内人が約60分にわたり星空を解説してくれるという旅行商品もあります。たいへん好評のようです。
 また、若手漁師による取組みとして漁業体験事業も行われています。そもそもは担い手育成を目的とした事業ですが、そこに観光的要素を入れながら旅行商品としての価値も付け加えられています。
 さらに、現在道の駅象瀉「ねむの丘」の横に建設中のアウトドア拠点施設は、たとえば鳥海山に来た登山客、観光客を市内に誘導する役割を担うことも目的の一つとしています。鳥海山の登山客に別のアクティビティ体験を提供できるようになれば、それまで日帰り客だった人たちを新たな宿泊客として迎え入れることができるようになるはずですが。
 この他にも市内には、新たな取組みをはじめた人たちが、さらなる挑戦をしようとする人たちが増えてきています。まだまだやれることはたくさんあると思います。それぞれの分野を、それぞれのプレーヤーが磨き上げ、『も』としてお互いがつながり合うことで、観光地としての魅力が加速度的に成長していくのだと私は思います。

にかほ biz

vol.36



ミサキ化学工業株式会社

『ミサキに出せば問題ない』と
言っていただけの技術力があります！

「私たちの会社は、お客様からお預かりした製品のめっき処理をしています。その中でも私は主にアルミ製品のめっきの前処理から、薬液につけてめっき加工するまでの業務をチームで行っています。アルミは処理が難しく、特に処理の前工程がしっかりとできていないと、しみ、めくれなどの不具合が出てしまいます。製品の大きさもさまざま、小さくて5mm、大きいものだと3mもあり、さまざまな形状に合わせて処理を行います。同じ製品はないので、毎日頭をひねります。考えた末にうまくいくとやりがいを感じるし面白い！と思います。」(渡辺さん・写真右)

「毎日違う製品に向き合うので飽きやすい人にも向いていると思います。私は2カ月前に、より技術が必要とされるチームに配属されました。日に日に正確に、速く作業ができるようになることが嬉しいです。また、昼以外にも2回休憩時間があり、就業中もメリハリがあります。自分のペースで働けますし、急な休みでもみんなが対応してくれるので休みやすいですね。」(小野寺さん・写真中央)

「私は各現場に入ってきた製品の情報入力と、完成品をお客様に納品するまでの情報管理をしています。製品の種類が多く、最初は間違えることもありましたが、それでも先輩は何度も丁寧に教えてくれましたし、困った時は相談にも乗ってくれます。頼れる上下関係があることがすごく働きやすいです。」(三浦さん・写真左)

取引先の会社から『ミサキに出せば問題ない』と思っていただけの確かな品質は、先代から受け継いできた誇れる技術です。ミサキ化学工業で、私たちと一緒に技術を磨き上げていきましょう！

企業情報

「常にお客様に満足していただける製品を作る」を掲げ、昭和60年の創業より金属製品への表面処理を行ってきました。弊社が有する東北最大級のめっき槽により、小物から長尺・大型製品まで幅広い製品形態を処理することができます。弊社の製品品質、納期対応を信頼していただき、おかげさまで全国400社以上と取引をさせていただいています。

所在地 秋田県にかほ市飛字餅田13番地1
 事業内容 無電解ニッケルめっき、アルマイト、電気ニッケルめっき、クロムめっき、ハードクロムめっき、電解研磨、精密洗浄などの表面処理業
 従業員数 113人(うち男71人・女42人)
 電話 0184-38-4091
 Eメール misaki@misaki-kk.co.jp



「にかほbiz」に掲載する事業所を募集しています！

若者や女性の採用に積極的な事業所やイチ押しの魅力などを持っている事業所を紹介します。申し込みは商工政策課(☎43-7600)まで！



にかほ市移住・Uターン・お仕事支援ポータルサイト

